



よこぜ議会ナビは
横瀬町議会が皆さんに
年4回お届けする議会発行の
広報紙。議会審議の経過や議員の活動を
解説とともにわかりやすくお伝えしていきます。

クイズ de よこぜ 「ここはどこでしょう？」
こたえは裏表紙

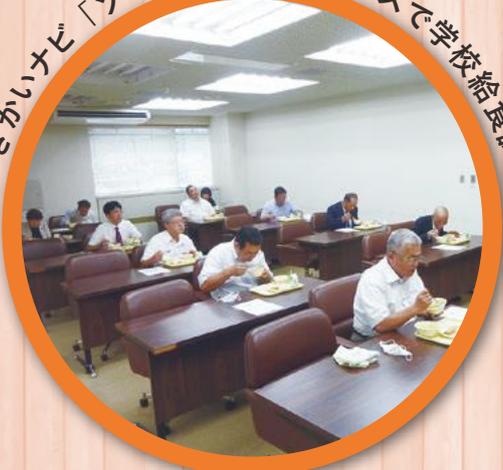


よこぜ

No.128

議会ナビ

まかないナビ「ソーシャルディスタンスで学校給食試食」



えがおナビ「宣誓! コロナに負けないぞ!」



まち風景ナビ「鎌で稲刈りやったでー!」



議会のことを
コンパクトにお知らせ



議会ホームページも
あわせてご覧ください
横瀬町議会

2020年 秋号(令和2年9月定例会)

P.2

町のお金の使い方を
チェック
令和元年度 決算を認定

P.4

審議した議案とその結果
補正予算質疑をピックアップ

P.6

6名の議員が登壇
町の考えを問う [一般質問]

町のお金の 使い方をチェック

令和元年度 一般会計

入ったお金 (歳入)		
自主財源 43.1%	町 税	11億6241万1117円
	繰越金	1億4689万4577円
	繰入金	1億1377万3991円
	その他	1億8393万9794円
依存財源 56.9%	地方交付税	10億7116万1000円
	国庫支出金	2億6990万6597円
	県支出金	2億5348万4655円
	町 債	3億2290万2000円
	その他	2億550万9357円
合 計		37億2998万3088円

使ったお金 (歳出)		
民 生 費	10億5670万1074円	
総 務 費	6億4885万1416円	
教 育 費	3億3577万3407円	
消 防 費	3億1931万8997円	
土 木 費	3億1128万6685円	
公 債 費	2億9007万1995円	
衛 生 費	2億4195万8555円	
農林水産業費	1億573万685円	
災害復旧費	7095万5883円	
議 会 費	6369万8124円	
商 工 費	6070万2705円	
合 計		35億504万9526円

令和元年度 決算に関して議員はココを聞きました (抜粋)



- 問** 子供懇談会での子供たちによる提案で、今年度実現したものはあるか。
- 答** 活かせるかどうか検討中。
- 問** 通勤助成事業廃止の理由は。
- 答** 4年間の限定事業であり実績が減ってきていて役割が果たせたと評価した。
- 問** 町の滞納処分における差押え処理はどのようなものか。
- 答** 20件該当し、債権のうち預貯金・所得税還付金などを差し押さえた。
- 問** 役場屋外設置の防犯カメラの警察等への提供件数は。
- 答** 提供件数は1件。秩父警察署へはなし。
- 問** ふるさと納税の実績は。
- 答** 羊毛製品が好評であった。今後も様々な特産品を発掘し活用していきたい。納税額(寄附額)2957万円、経費(返礼品など)1131万円、横瀬町民が他市町村へした寄附額965万円などあるが、実質収支は1715万円のプラス。町の貴重な財源になっている。
- 問** 地域おこし協力隊の募集委託料99万円は電子書籍タイプのネット掲載記事で、

示率が悪い。取捨選択をしてやっている。

問 観光・産業振興協会運営費補助事業について一部改善とあるがどのようなものか。

答 社団法人となってまもなくで、多くが委託事業であり、収益事業の取組が必要なたため支援をしていく。

問 住宅環境改善促進事業における住宅リフォームの地域経済に与える影響の評価は。

答 町内の経済に与える影響はさほどなく、町内事業者の利用促進に努める。

問 町民会館向かいのうららかミュージックガーデンの利用状況と利用促進策は。

答 音楽関連での貸出実績はない。町民会館の駐車場としての利用が多く、健康組合のイベントに年1回程度貸出をしている。

問 国民健康保険税の資産割課税^{※1}があるのは、県内22団体のみ。なくすことはできないか。

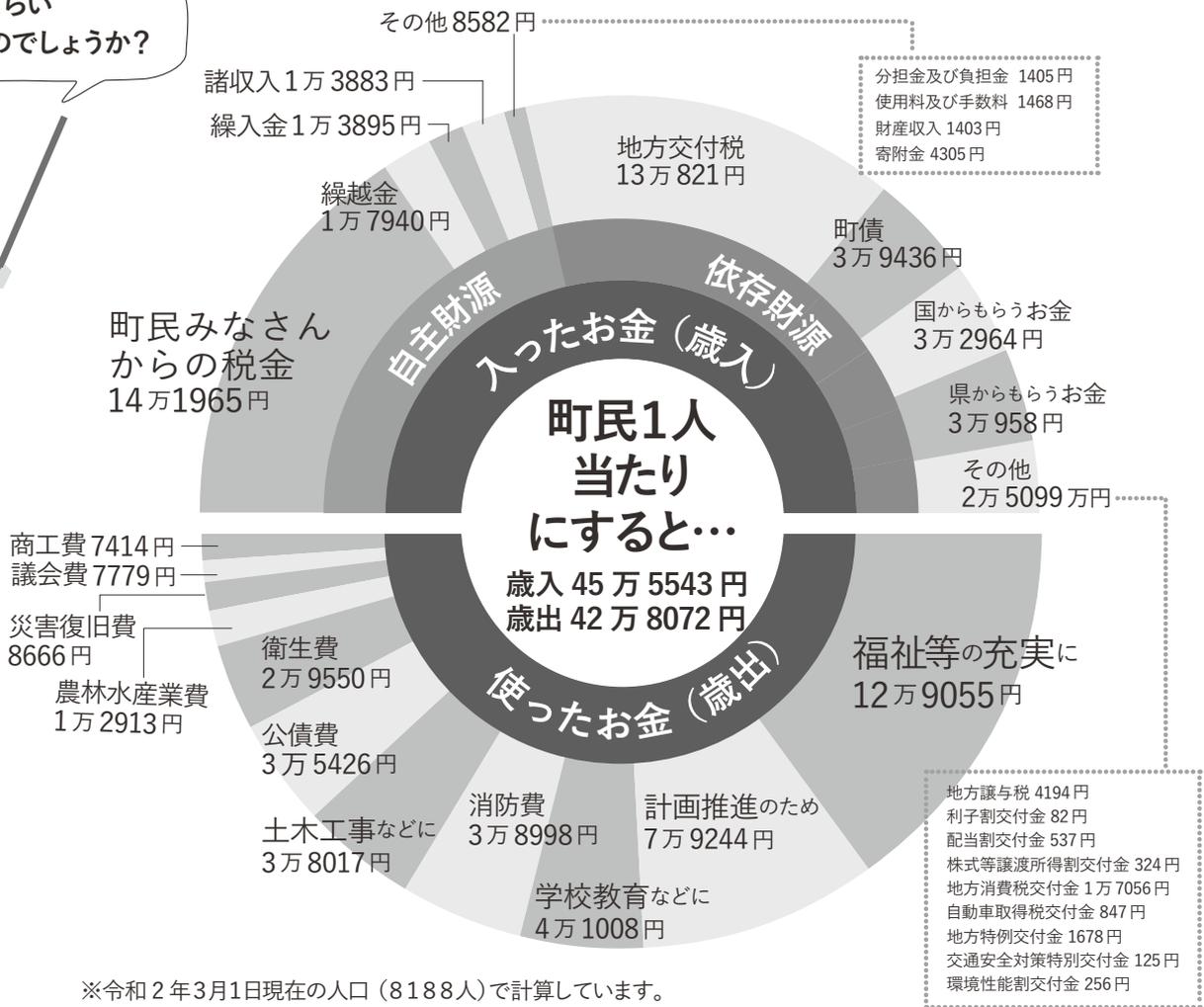
答 今後段階的に保険税水準が統一されていく中で、なくなっていくと思われる。

問 コミュニティスクール推進事業の現状は。

資産割課税

国保税は、所得割、資産割、均等割、平等割で構成されていて資産割は資産に応じて課税される。固定資産税額のうち土地及び家屋に係る部分の額に100分の35を乗じて算定している。

何にどのくらい使われたのでしょうか？



※令和2年3月1日現在の人口(8188人)で計算しています。

※円未満は四捨五入の計算方法で記載しているため、合計額が一致しない場合があります。

このような経過で議会は
**令和元年度各会計決算を
 認定しました**

- 見積が1社の随意契約だが横瀬町契約規則に抵触しないか。**
- 答** 閲覧者を都市部の20、30代、読者5万人を想定した特殊な契約だったので、1社随契にした。
- 問** 関係人口創出事業322万円は総務省の事業目的に合っていない支出だと考える。関係人口は増えたのか。
- 答** 交付金をもらうために組み立てを変えた。カウントしていないが、増えている印象がある。
- 問** エリア898のPCのリース業者は、なぜ地元業者ではなく、よこらぼの外都専門家と同じ業者なのか。
- 答** 3社から取り1社辞退で、この業者が安かった。
- 問** 社会資本整備交付金の予算額9055万円が決算の執行額では2992万円となっており、30%の執行率であるが、計画的に道路改築工事が執行できたのか。
- 答** 要望額に対し県からの内

- 答** 会議、研修などを実施。会報を月1回回覧し、地域とともにある学校を目指していく。
- 問** 歳出残金の不用額もある中で、やむを得ない場合に言う予備費からの充当も見られる。支出負担行為や予算残額について注視が必要では。
- 答** 交付税の歳入など想定が難しい点もあるが、もう一歩踏み込みたい。効率的な予算執行に努めていきたい。
- 介護保険特別会計**
- 問** 高齢者サロン設置事業の詳細と検証は。
- 答** 地区による補助額差の公平化と裾野の拡大が課題。
- 決算に対する討論**
- 【賛成討論】**
宮原みさ子議員
 想定外の脅威にさらされた試練の年だったが、様々なチャレンジを継続し、町の強みを活かした取組が行われており、各会計とも、良好に運営が執行されたと確信し賛成する。

令和2年8月臨時会・9月定例会 審議した議案とその結果		審議結果	向井芳文	黒澤克久	阿左美健司	宮原みさ子	浅見裕彦	新井鼓次郎	内藤純夫	大野伸恵	若林想一郎	関根修	小泉初男	若林清平
8月臨時会 町長提出議案														
令和2年度横瀬町一般会計補正予算（第3号）		可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
財産の取得について		可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
9月定例会 町長提出議案														
報告	横瀬町の健全化判断比率及び横瀬町の公営企業における資金不足比率について	了承	○	○	※	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
一部改正	横瀬町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
令和元年度決算	横瀬町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町浄化槽設置管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	※	○	○	○	○	○
令和2年度補正予算	横瀬町一般会計補正予算（第4号）	可決	×	○	×	○	○	×	※	○	×	×	○	○
	横瀬町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町下水道特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町浄化槽設置管理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
その他	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
人事	横瀬町教育委員会委員の任命について（久米真由理氏 ※新任）	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○

令和2年度補正予算を可決 質疑をピックアップ

8月臨時会
[8/13]

- 問** 横瀬町で失業してしまった人などのデータ収集はどのようにしたか。
- 答** 雇用の現状については町内事業者のアンケートなどで把握。ハローワークなどで情報収集していききたい。
- 問** コロナでピンチをチャンスに変えるとは。
- 答** やり方を変えることが求められる。都市と地方との人の動きが変わるのはチャンス。これを機に、例えば教育分野で小中学校のICT化を前倒しでできる。
- 問** イベントが中止になり、役場職員の負担が減った分を他の住民サービスに向けられないか。
- 答** コロナ対策で職員の業務量は増えていて、むしろ人手が足りない状態で職員には頑張ってもらっている。
- 問** 給食費の補助と免除の違いは。なぜ、免除なのか。文言の違いはきちんと説明を。
- 答** 今回コロナという特別の事由なので免除。
- 問** 学校ICT整備運営事業の財源内訳で国庫補助の占める割合は。
- 答** 児童・生徒の端末器の3分の2であり、既予算との関係で455台のうち217台分が該当する。
- 問** 事業者支援補助金5万円の使途と感染防止対応の進め方は。
- 答** 業種別のガイドライン等に沿って対応するように観光協会と連携し、理解と納得により消毒液、カーテン、マスク等の徹底を図る。

議会はココに注目!

9月定例会の審議から、主な質疑をお知らせします。



旧給食センター

補正予算等の主な質疑「町の考えは？」

問 マイナンバーカードの最新の交付率は怎么样了か。

答 横瀬町の状況は9月1日現在で19・2%。

問 役場職員にテレワークは必要か。

答 危機対応の対策もある。役場以外で仕事ができる環境を作り、事業継続を確保する。職員の時間の使い方の改善も図る。国の取組に対する勧めや支援もある。

問 高齢者へのマスク配布ではなく一括保管にしたかどうか。

答 もらえると嬉しいという声もあり、感染拡大の防止啓発にもなる。今回の臨時交付金の趣旨にもあっている。

問 地域経済基盤強化事業とは旧給食センターを解体して何をするのか。道の駅でやってからでもいいのでは。

答 道の駅の子会社をつくり、鉄骨平屋の約20坪の建物で加工調理室、対面販売スペースをつくる。町、道の駅、農家、地域おこし協力隊を結

びつけて新しい価値をつくり出す。

問 旧給食センター跡地の活用は、急いで不完全なものを作っても利用価値がなくなるので、コロナ対策補助金にマッチしているのであれば解体だけして別に利用を考えたい方がいいのでは。この通りの予算執行には納得できないので、再考できないか。

答 思いつきではない。町の資源、補助金の活用をどうするか考えた最大限の解答。形が見えてきたら、その都度説明したい。

問 感染症予防等対策事業について、検温等施設入場管理の人権的配慮等に関する運用マニュアル等はあるのか？ また、2次スクリーニングは。

答 運用マニュアル等は今のところ作成できていないが、今回の意見を踏まえ今後様々なことを検討していく。体温が高い方には、再度検温するなど2次スクリーニングを行い、医療受診を勧める。

問 秩父地域キャッシュレス決済促進事業のためのアプリの導入について、使い方が分からない方を対象に、事前講習の予定はあるか。

答 利用者向けの説明講習会を実施する予定となっている。

問 空き家除去補助金が増額補正された。難しい課題だが、実績が上がっている。町の取組と今後の動向は。

答 空き家の所有者に対し、除去補助金等の周知を行った。今年想定した3件分の補助が完了し、問い合わせもあるため増額した。

下水道特別会計

問 地方公営企業法適用に向かって進めているが、方針決定の時期と準備期間、進め方は。

答 予算作成期に方針を決定した。準備期間は今回の委託事業を含めて3か年を予定し、研修等を行い移行していく。

補正予算に対する討論

【反対討論】阿左美健司議員
今回交付金が主な財源だが町からも2835万円出ている。今必要でないものも計上されている。バラマキ的なものが今後の横瀬町に悪い影響を及ぼす。やりたい事業に絞って予算執行すべき。

【反対討論】新井鼓次郎議員
旧給食センターの解体撤去はいいが、跡地に鉄鋼平屋建て20坪の建物をつくることには反対。本件は図面一枚も出ておらず、検討や議論が全くされていない。差し戻して議論する考えが町にないのなら、この一点のみ反対する。

【賛成討論】大野伸恵議員

コロナ禍対策を前に進めるための大事な補正予算。旧給食センターの解体工事の一つの解決策として経済対策としての一面と理解する。議員の意見等参考にし、よりよい予算執行をお願いする。

あさみやすひこ

浅見裕彦議員が聞く！



職員が働きやすく誇りの持てる職場環境を！

- 問** 町職員の働き甲斐ある職場づくりはどう進めているか。
- 答** 町長 危機感と希望を共有し、仕事に誇りと執着心を持てるように、職員とのコミュニケーションを図っている。
- 問** 魅力ある職場づくりの具体的な取組は。
- 答** 総務課長 職員の提案制度自己啓発、事務改善、人事異動の希望尊重等取り組んでいる。
- 問** 感染者への誹謗中傷、差別、偏見の排除への施策は。
- 答** 子育て支援課長 個人情報に十分留意して対応。防災無線・SNS等で差別、偏見が生じないように理解を求める。
- 問** インフルエンザ予防接種希望者への医療費補助はどうか。
- 答** 子育て支援課長 小学生、中学生への一部補助を行う。
- 問** 児童生徒への安全・安心な居場所としての学校の取組は。
- 答** 教育長 体調管理の徹底やいじめ差別を許さない取組等で感染防止策の順守を図っている。
- 問** どの子にも行き届いた教育のための底上げ対応策は。
- 答** 教育長 教科充実のため職員を加配し、学級支援員を含めて少人数指導を行っている。

みやはら

宮原みさ子議員が聞く！



安心・安全のまちづくりを

- 問** 通学路の点検はどのように行われているのか。また、危険箇所の把握と対策は。
- 答** 教育次長 小学校では、月1回、また、各学期の始業時と終了時に登校指導と合わせて点検を行っている。PTA安全委員会でも地区ごとに点検を行っている。危険箇所の把握は、保護者、住民等からの相談を受けて、現地確認を行って関係各所と協議し対応をしている。
- 問** 旧役場跡のブロック塀の亀裂やブロックの落下の危険性に対する対策は。
- 答** 教育次長 一部剥離する可能性があるため「頭上注意」の看板を設置した。今後、ブロック塀の撤去、転落防止柵の設置を検討していく。
- 問** 「おくやみ相談窓口」の設置と現状の取組は。
- 答** いきいき町民課長 手続に關して各課担当職員と連携し、いきいき町民課窓口一か所を済むようになっている。また、必要となる手続を一覧にした「ご家族の方へ」を配付しており、今後も現在の方法で窓口対応を進めながら、住民サービスの向上に努める。

くろさわかつひさ

黒澤克久議員が聞く！



渋滞解消に向けて！

- 問** 県道11号線、国道299号線、町内道路の渋滞についての対応は。
- 答** 建設課長 町の対応としては、道路管理者の埼玉県に引き続き要望していく。今後は埼玉県をはじめ秩父地域1市4町で連携して取り組む必要がある。
- 問** 今回の道路整備、渋滞解消のような2つの自治体が関連するものは、首長同士の連携、行動が重要になると考える。町長の見解を伺う。
- 答** 町長 1市4町は連携がしっかり取れている。秩父市とは情報の共有、問題意識の共有は積極的に図り、しっかり連携していきたい。
- 問** 新型コロナウイルス感染症に伴った緊急事態宣言、県をまたいだ移動制限時においても道の駐車場は連日満車状態。夜間においても駐車場に多くの若者が集まり、「治安が悪くなって怖い」との町民の声がある。
- 答** 振興課長 道の駐車場は埼玉県の管理で、直接的な管理は難しい。今後も道の駅と連携して県、警察に対応要請をしていきたい。

おおののぶえ

大野伸恵議員が聞く！



小さな町だからこそ！

問 今年度から第6次総合振興計画が始まった。地域課題解決のため、各課を横断する組織となると思うが、組織の見える化が必要ではないか。

答 副町長 チームの見える化は進めていきたい。

問 学校教育において非認知能力^{サトバ}の向上が計画されている。幼児期の自然遊びなどから得られる要素が大きいと言われているが、その環境づくりは。

答 子育て支援課長 遊びや体験を中心にのびのびとした幼児教育の推進や、コミュニティ広場など親子で気軽に出かけられる場所など子供の居場所について検討する。

問 景観環境づくりとしてごみ排出量の削減などが計画されている。SDGsのまちづくりをうたっているが、小さい町だからこそ、環境保全に果敢に取り組んでほしい。新たな施策は何か考えているのか。

答 町長 環境保全はやっていく。秩父郡市とも一緒にやっていきたい。

むかいよしふみ

向井芳文議員が聞く！



withコロナと持続可能な社会

問 コロナウイルスの恐いところは、病気そのもののほかに人権的な問題の発生や、信頼関係及び社会のつながりが壊されてしまうことである。しかし、病気そのものへの対策は、手洗い・消毒・マスク着用・3密回避等かなり浸透しており、あとはワクチン待ちだが、人権的な問題や人のつながりが壊されていることへの対策は、まだまだ不十分である。その対策は。

答 副町長 人のつながりは大切と考えており、感染状況を見つつ最大限の注意を払いながら、できるだけ社会経済活動を行っていただきたいと考えている。そのためにも人権的な問題に関する取組は大切と考える。

問 子育て支援課長 人権問題対策は、ただ啓発していても響かなければ意味がない。ご提案の標語等を含め、各課と連携して取り組んでいく。

わかばやしそういちろう

若林想一郎議員が聞く！



地域おこし協力隊の活用と職員の定員管理

問 人口減少対策で活動している地域おこし協力隊の現状と今後、採用基準と地域移住及び起業の可能性を問う。

答 まち経営課長 現在9名が活動している。町の活性化につながるという観点から書類審査、面接を通じて採用している。起業・定住は、引き続き支援していく。

問 町の地域おこしに対する基本姿勢は他力本願ではないか。地域おこし協力隊員と地域住民や町職員のつながりを考え、町独自の取組も考えていく必要があると思うが、どうか。

答 まち経営課長 隊員が住民の理解を得て役場と連携して活動し、コミュニケーションの充実により町の新しい価値や可能性を見出していく。

問 活性化策の中心となるべき町職員について、定員管理の現状及び採用基準・昇格基準を問う。

答 総務課長 職員数は91名。定員管理総数の令和5年度目標値は、前計画と比べ2名削減。採用は能力、人物等を、昇格は在級年数、人事評価等を総合的に判断し決定する。



表紙「クイズ de よこぜ」

こたえは……

「がくちょうざん嶽頂山東林寺」

東林寺は宇根地区にある曹洞宗のお寺で、寛永年間の創建です。ご本尊は准胝観世音菩薩。境内には、秩父七福神の恵比寿様が祀られています。



平成 26 年に落成した本堂は秩父路随一!!

編集を終えて

新型コロナウイルス感染症の影響で、生活様式が変化をし、町のイベント等も中止を余儀なくされています。議会もアクリル板を付けて、ソーシャルディスタンスを保ちながら行われました。ウイズコロナの時代、今後も皆様の声に耳を傾け安心して暮らせるまちづくりを目指して取り組んでいきたいと思
います。(M・M)



よこぜ議会ナビ

2020年 秋号(令和2年9月定例会)

No.128

発行：埼玉県横瀬町議会

〒368-0072

埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬 4545 番地

tel.0494-25-0119 fax.0494-23-9349

発行責任者：議長 内藤純夫

編集：広報常任委員会

委員長…浅見裕彦 副委員長…阿左美健司

委員…大野伸恵・新井鼓次郎

宮原みさ子・向井芳文

委員会から報告します

「コロナ禍でも負けない町の取組」

総務文教厚生常任委員会

8/27、コロナ禍における町の対応について、町税の現状を税務会計課長より資料に基づき説明を受け、質疑応答を行いました。教育委員会報告を教育長より資料に基づき説明を受け、質疑応答を行いました。

「応援しよう！町内業者」産業建設常任委員会

今回のテーマは「コロナ禍における町内業者の現状と町の支援策について」。町内事業者アンケート調査の運用に関する事、アンケートデータの詳細及び検証に関する事、各種支援策の状況及び今後の運用に関する事等の質疑がありました。みんなで町内業者を応援しよう!

「読みたくなる紙面を目指して」

広報常任委員会

委員会は、議案が示された日に開催し、概要、アウトライン、構成を決めています。町風景、笑顔、ここはどこ、議会の動き、表紙の選択に苦慮しています。原稿が集まりゲラができてから、再度開催。細部にわたり検討を行い、より見やすい広報誌を作成しています。

「議会改革調査研究特別委員会を設置」

秩父広域市町村圏組合

全員協議会(7/15)・定例会(7/22)。副議長の辞職及び選挙、常任委員会委員長の選任、決算認定、補正予算等5議案及び議員提出議案1議案について審議・可決・承認しました。

知事、お願いしましたよ!



8月25日秩父地域の議会の代表と大野県知事、田村県議会議長に秩父地域の発展にかかせない道路整備、県民の暮ら



しを支える水源である秩父地域の森林整備の促進をお願いしました。

知事は予定時間をオーバーしても話を聞いてくれました。

次の定例会は

12月上旬 開会予定

本会議は
どなたでも
傍聴できます!



詳細は横瀬町議会ホームページをご覧ください
議会事務局 TEL 25-0119 にお問合せください

